

高石高等学校 28年度 学校教育自己診断 分析表

1 (生徒の) 学校生活の充実度

生徒 3.22 保護者 3.04 教職員 3.14

三者とも似た結果であり、概ね生徒たちは、学校生活に満足していると考ええる。

2 授業の分かりやすさ

生徒 2.83 保護者 2.55 教職員 3.13

教職員の肯定率に比べ、他からの評価は低くなっている。

授業アンケートなどを活用して、一層の授業力向上を図ることが求められていると考える。

3 キャリア教育の充実

生徒 2.94 保護者 2.95 教職員 3.04

概ね、似通った結果であるが、1年生の結果だけ、抜き出せば、3.09と高くなっており、1年生のHRの時間増をした効果が出ていると考える。

4 挨拶の励行

生徒 3.10 保護者 3.04 教職員 3.10

平素から生徒の挨拶ができていると考えるが、しっかりと声を出して、挨拶できる生徒を増やしたいと考える。

5 朝の読書

生徒 3.15 保護者 3.19 教職員 2.76

朝の慌ただしい時間のなかで、教職員はやや負担を感じるのかもしれないが、落ち着いた時間を作ることができ、生徒の成長に寄与していると考ええる。

6 45分7時間授業

生徒 2.41 保護者 2.77 教職員 2.17

本校は32単位履修の教育課程であり、「45分7時間授業」か「50分授業で週2日は7時間目まであり、16時15分に授業が終了するパターン」しかない。

そこで、次年度からは、45分7時間授業を維持しつつ、木曜日のHR前の4～6時間目の補完授業を月曜日の5～7時間目に変更し、HRの充実を図りたいと考える。

7 部活動・学校行事

生徒 3.02 保護者 2.99 教職員 2.95

約70%の生徒が、部活動に関わり、放課後も充実した学校生活を送っている。
体育祭や文化祭なども保護者の来校が多く、行事も盛んであると考ええる。

8 (本校は海岸沿いにあるため、欠かせない) 防災教育

生徒 3.27 保護者 2.94 教職員 2.78

大人である保護者、教職員は更なる防災教育を求めていると考える。

次年度以降も、市と合同で、津波避難訓練を実施し、防災意識を高めたい。